

指定要件等	必須:A 非必須:B	岩手県立中央病院(1)	公立刈田総合病院(2)	成田赤十字病院(3)	総合病院国保旭中央病院(4)
所在地		岩手県盛岡市上田一丁目4-1	宮城県白石市福岡蔵本字下原沖36番地	千葉県成田市飯田町90-1	千葉県旭市イの1326番地
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定					
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、平成12年の人口、がん診療拠点病院数)		岩手県「盛岡保健医療圏490,577人(平成15年4月1日現在)」の1カ所目	宮城県「仙南医療圏194,884人(平成12年10月1日現在)」の1カ所目	千葉県(印旛・山武保健医療圏)866,926人(平成15年4月1日現在)の1カ所目	千葉県(香取・海浜保健医療圏)353,094人(平成15年4月1日現在)の1カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	17.0%(平成14年度)	8.8%(平成14年度)	12%(平成14年度)	16.4%(平成14年度)
II 拠点病院の指定要件 (継続的、全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)					
1 診療体制					
(1)診療機能					
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的診療体制を有する	A	○	○	○	○
②緩和医療提供体制	A	○	○	○	○
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○	○	○	○
(2)診療従事者					
①医療機関や患者からの相談に対する対応者の配置	A	○	○	○	○
②下記に掲げる者の配置					
○専門的な看護に携わる看護師	B	△	△	×	×
○精神保健福祉士	B	×	×	○	○
○臨床心理に携わる者	B	○	×	○	○
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	○	○	○
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	○	○	○
○放射線治療医又はこれを連携により確保	A	○	○	○	○
○病理専門医又はこれを連携により確保	A	○	○	○	○
(3)医療施設					
①医療相談室	A	○	○	○	○
②集中治療室	B	○	○	○	○
③無菌病室	B	○	○	○	○
④放射線治療施設またはこれを連携により確保	A	○	○	○	○
(4)医療機器					
○高度な医療機器	B	○	○	○	○
○上記医療機器の保守に精通した者	B	○	○	○	○
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)	A	○	○	○	△
2 研修体制					
(1)地域における研修	A	○	○	○	○
(2)院内医療従事者の研修	A	○	○	○	○
3 情報提供体制					
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の公開	A	○	○	○	△
(2)地域の医療機関からの相談対応・情報提供	A	○	○	○	○
(3)がん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○	○	△	○

○:指定要件を満たす、×:指定要件を満たさない、△:どちらとも言いえない、ページ数は参考資料(各医療機関よりの提出資料)におけるページ数

指定要件等	必須-A 非必須-B	千葉労災病院(5)	亀田総合病院(6)	石川県済生会金沢病院(7)	大津市民病院(8)
所在地		千葉県市原市辰巳台東2-16	千葉県鴨川市東町929番地	石川県金沢市赤土町二13番6	滋賀県大津市本宮二丁目9-9
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定					
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、平成12年の人口、がん診療拠点病院数)		千葉県(夷隅・長生・市原保健医療圏)523,348人(平成15年4月1日現在)の1カ所目	千葉県(安房保健医療圏)143,662人(平成15年4月1日現在)の1カ所目	石川県「石川中央医療圏」708,689人(平成15.7.1現在)の1ヶ所目	滋賀県(大津医療圏及び・湖西医療圏)大津315,960人、湖西55,449人(平成14年10月1日現在)の2カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	24.1%(平成14年度)	15%(平成14年度)	13.5%(平成14年度)[26ページ]	6.4%(H14.1月)[P9]
II 拠点病院の指定要件 (継続的、全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)					
1 診療体制					
(1)診療機能					
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、診療内容、診療実績等(別紙1~3、資料1)	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、診療内容、診療実績等(別紙1~3、資料1)	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、診療内容、診療実績等[2ページ、5ページ、43ページ~47ページ]	○ 5部位のがん診療に関わる医師数、診療内容、診療実績等[P1~3、P9]
②緩和医療提供体制	A	○ 緩和ケア病棟はないが、緩和ケアチームを編成し対応している。(別紙2)	○ 緩和ケア病棟はないが、専任の医師を招き緩和ケアチームを編成し対応している。(別紙2)	○ 緩和ケア病棟あり(28床)[18ページ~32ページ]	○ 緩和ケア病棟あり20床[P9]
③地域医療機関・大病院等との連携・協力体制	A	○ 医療連携室を設置し、300カ所の医療機関と連携を図っている。昨年度の紹介患者数4,407人、紹介率25.3%(別紙2、資料2・3)	○ 地域医療ネットワーク室を設置し、67カ所の医療機関と連携を図っている。昨年度の紹介患者数4,506人、紹介率32.7%(別紙2、資料2・3)	○ 胃、大腸、肺、肝がんの撲滅に専門医を派遣している。開放型病棟20床を金沢市、松任郡市医師会との間にとりかわしている。 紹介率16.1%[34ページ、42ページ]	○ 地域の医療機関とは、地域医療課を窓口に通院連携を行っている。また診察検査の依頼に応じ、地域医師会との連携の基に診療を行っている。[P3~4、別紙B-1~7]
(2)診療従事者					
①医療機関や患者からの相談に対する対応者の配置	A	○ 学会認定資格を有する専門医等により対応(別紙1、資料1)	○ 学会認定資格を有する専門医等により対応(別紙1、資料1)	○ 常勤3名(外科担当副院長1名と診療部長2名)で対応[3ページ]	○ 学会認定資格を有する専門医、地域医療課において対応[P5、資料B-8~11]
②下記に掲げる者の配置					
○専門的な看護に携わる看護師	B	× 配置なし	× 配置なし	○ 1名(がん性疼痛看護認定看護師)	○ 認定看護師(がん性疼痛看護)1名、緩和ケア病棟従事看護師15名
○精神保健福祉士	B	○ 1人(別紙2)	× 配置なし	×	×
○臨床心理に携わる者	B	○ 6人(別紙2)	○ 11人(別紙2)	○ 1名	○ 医師 2名[P5]
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 3人(別紙2)	○ 7人(別紙2)	○ 1名	○ 病歴管理室 4名[P5]
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 1人(別紙2)	○ 20人(別紙2)	○ 2名	○ 地域医療課 2名[P5]
○放射線治療医又はこれを連携により確保	A	○ 放射線科医師1人(別紙2)	○ 専任医師1人(別紙2)	○ 2名	○ 連携により確保 滋賀医科大学放射線治療医[P5]
○病理専門医又はこれを連携により確保	A	○ 検査科医師1人(別紙2)	○ 専任医師1人(別紙2)	○ 1名	○ 日本病理学会認定病理医 2名[P5]
(3)医療施設					
①医療相談室	A	○ 1室(別紙2)	○ 1室(別紙2)	○ 1室	○ 1室[P6、平面図2階]
②集中治療室	B	×	○ 3室25床(別紙2)	○ 院内ICU10床、院内CCU4床	○ 1室、6床[P6、平面図3階]
③無菌室	B	×	○ 1室2床(別紙2)	○ なし	○ 1室[P6、平面図8階]
④放射線治療施設またはこれを連携により確保	A	○ 1室(別紙2)	○ 1室(別紙2)	○ 1室(放射線治療室・地下1階)[11ページ]	○ H14.2~施設を朽化により一時休止中。現在滋賀医科大学に協力依頼[P6、別紙C-2]
(4)医療機器					
○高度な医療機器	B	○ リニアック1台、超音波断層撮影装置 6台、MRI 1台、CT 2台、ガンマカメラ装置 1台(別紙2)	○ CT装置、MR装置、ライナック、腔内照射装置、ガンマカメラシステム、血管撮影装置(別紙2)	○ マルチスライスCT18 1台、ヘリカスライスCT 1台、1.5TスリMRI 1台、リニアック1台、RISペタ装置1台、血管造影装置1台	○ CT、MRI、乳房撮影装置等[P6~7]
○上記医療機器の保守に精通した者	B	○ リニアック(放射線技師1名)、超音波断層撮影装置、MRI(放射線技師1名)、CT(放射線技師2名)、ガンマカメラ装置(放射線技師1名)(別紙2)	○ CT装置(3名)、MR装置(2名)、ライナック(2名)、腔内照射装置(2名)、ガンマカメラシステム(2名)、血管造影装置(1名)(別紙2)	○ 医師(5名) 技師(9名) 看護師(3名)	○ 医師、医療技術者有り[P6~7]
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)	A	○ 平成14年度開始、登録者数580人、病歴室職員3人(別紙3)	○ 平成13年度開始、登録者数1,459人、医療情報管理室職員2人(別紙3)	○ 平成15年10月から院内がん登録を開始	○ H15.2システム再構築を行い、稼働している。また、地域がん登録とのリンクをさせている。現在登録件数(H15.7)179名[P7、別紙C-3]
2 研修体制					
(1)地域における研修	A	○ 地域の医療従事者を対象にカンファレンスを実施(別紙3)	○ 地域の医療従事者を対象に学術講演会を実施(資料5)	○ 「石川緩和医療研究会を立ち上げ、県内に緩和ケアを普及」。研修会等に講師として出席[4ページ、27~32ページ、48~53ページ]	○ 地域の医療従事者を対象とした各種検討会や講演会に講師や指導者として職員を派遣している
(2)院内医療従事者の研修	A	○ 院内で各科カンファレンス、業談会、勉強会を開催(資料6)	○ 院内で症例検討会、学術講演会、カンファレンスを開催(資料6)	○ がんに関する看護研究会の実施[69ページ]	○ H14.4~地域診療研修室を開設し、研修を行っている。H14年度実績26回開催、受講者252名[P7~8]
3 情報提供体制					
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の公開	A	△ 病院紹介、診療案内等(別紙3、資料7) ※がん診療情報については15年度中に掲載予定	△ 病院紹介、診療案内、超音波検査機器の紹介等(別紙3、資料7)※がん診療情報については現在検討中	△ 各診療科の診療内容(特徴)、外来担当医師の紹介、緩和ケア、地域医療連携に対する取組の紹介、当院の沿革等[54ページ]	△ ホームページを通じ、情報を公開している。今後はがん情報も入れていく予定[P8、別紙D-1~2]
(2)地域の医療機関からの相談対応・情報提供	A	○ 地域開業医等に対する症例検討会、医師会発行誌にがん検診の情報掲載。(別紙3、資料8)	○ 地域医療機関とオープンネットワーク上で共有カルテを活用して医療情報の共有を実現(別紙3、資料8)	○ 紹介医に切除標本あるいは病理診断、内視鏡などを提供 地域医療機関及び福祉団体などへの緩和ケアの普及啓蒙[55ページ]	○ 紹介患者に対する治療経過報告、症例検討会等研修会、学会等による情報提供
(3)がん情報の収集提供(5年生存率等)	A	△ 学会からの情報収集を行うとともに今年度中に5年生存率を公開する予定(資料7、8)	△ がんに関するトピックスの報告を実施、今後、がん登録の整備を進め、5年生存率の公開を検討する予定(時期未定)(資料7、8)	△ がん制圧期間に公衆目などで、がんの最近の課題を講演・研修の場での啓蒙のために、医師の勉強会、各種団体、婦人会など地域のセンターで講演、1年に1回地域医療を対象とした病院誌を発行しており、その中で当院のがん治療に対する取組などを情報提供している。今後も病院誌やホームページを活用して、がん治療に係る情報提供を行っていく予定である。	△ 今後、がん患者の5年生存率等の総合的ながん情報をホームページや学術論文・学会発表等を通じ積極的に提供していく。また、全国地域がん診療拠点病院連絡協議会にも情報提供していく。

指定要件等	必須A 非必須B	鳥取県立厚生病院(9)	総合病院 岡山赤十字病院(10)	財団法人 倉敷中央病院(11)	総合病院社会保険徳山中央病院(12)
所在地		鳥取県倉吉市東昭和町150番地	岡山県岡山市青江二丁目1番1号	岡山県倉敷市美和1丁目1番1号	山口県周南市孝田町1-1
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定					
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、平成12年の人口、がん診療拠点病院数)		鳥取県「中部保健医療圏」116,313人(平成13年10月1日現在)の1カ所目	岡山県「県南東部保健医療圏」896,486人(平成14年10月1日現在)の2カ所目【1.2ページ】	岡山県「県南西部保健医療圏」710,575人(平成14年10月1日現在)の1カ所目【1.2ページ】	山口県「周南保健医療圏」256,906人(平成12年10月1日現在)の1カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	13.1%(平成14年)【5ページ】	15.3%(平成14年度)【3ページ1の8】	14.3%(平成14年)【48ページ】	21.4%(平成14年)
II 拠点病院の指定要件 (継続的、全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)					
1 診療体制					
(1)診療機能		【1~4ページ】			
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 5部位のがん検診に関わる医師、診療内容【1~2ページ】	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、患者数、病理組織診断数【7~8ページ】	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、患者数、病理組織診断数【50~51ページ】	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、診療内容(学会認定資格資料参照)
②緩和医療提供体制	A	○ 緩和ケア病棟なし ○ 緩和医療提供体制【3ページ】	○ 緩和ケア病棟なし、緩和ケアチームあり(外科医師1名、精神科医師1名、看護師2名)【4.10~13ページ】	○ 緩和ケア病棟なし、緩和ケアチームあり(医師8名、看護師8名、薬剤師・歯科衛生士・作業療法士・ソーシャルワーカー各1名)【80ページ】	○ 緩和ケア病棟はないが、医師5名(外科医2名、放射線医2名、麻酔医1名)看護師5名、薬剤師1名計11名による緩和ケアチームを設置し、緩和医療提供体制を確保している。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 地域医療連携室を設置し、地域医療機関との病診連携体制を整備し、難度の高い手術、診断、治療法等について、地域医療機関及び大学病院等との連携を図っている。平成14年度紹介患者数3,269人、紹介率33.5%	○ 連携医療機関数は、2,419施設。紹介患者数は、9,376人(平成14年全疾患)紹介率は、38.4%(内、入院がん患者の紹介率は65.2%)【4.14~23ページ】	○ 地域医療連携室設置。紹介患者数は、26,718人(平成14年)紹介率32.3%。紹介元医療機関143施設。(遠紹介患者数16,667、紹介先医療機関119施設)医療画像伝送ネットワーク連携医療機関数25施設。【63~79ページ】	○ 患者の紹介、受け入れ体制について、山口大学医学部附属病院と連携しているほか、地域医療機関と連携している。
(2)診療従事者					
①医療機関や患者からの相談に対する対応者の配置	A	○ 地域医療連携室において対応している。	○ 医師2名(癌センター運営委員会の委員長・副委員長)【4ページ】	○ 診療科医師69名、その他(外来看護1名、リハビリ療法士2名)【49ページ】	○ 学会認定資格を有する専門医、医療相談室において対応している
②下記に掲げる者の配置					
○専門的な看護に携わる看護師	B	×	×	○ 認定看護師3名(常勤)	×
○精神保健福祉士	B	△	○ 1名(常勤)	○ 1名(常勤)	×
○臨床心理に携わる者	B	△	×	○ 2名(常勤)	×
○臨床診療録管理に携わる者	B	○	○ 4名(常勤)	○ 7名(常勤)	○
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○	○ 4名(常勤)	○ 7名(常勤)	×
○放射線治療医又はこれを連携により確保	A	○	○ 2名(常勤)	○ 1名(常勤)	○ 5名
○病理専門医又はこれを連携により確保	A	○	○ 3名(常勤、非常勤1名)【4.24~25ページ】	○ 3名(常勤)	○ 1名
(3)医療施設					
①医療相談室	A	○ 1室	○ 1室	○ 5室	○ 1室
②集中治療室	B	○ 1室3床	○ 21床(ICU12床、CCU6床、NICU3床)	○ 47床(ICU10床、NCU8床、CCU8床、NICU15床)	○ 1室6床
③無菌病室	B	×	×	○ 10床	○ 2室2床
④放射線治療施設またはこれを連携により確保	A	○ リニアック	○ CT、MRI、リニアック	○ ライナック、ラルストロン各1台	○ リニアック1室、MRI1室、CT2室
(4)医療機器					
○高度な医療機器	B	○ リニアック、MRI、CTなど【4ページ】	○ MRI、CT、他	○ MRI、CT、ライナック、デジタルガンマカメラ、血液成分分離装置スペクトラ、バイプレーン血管連続撮影装置ANGIOREX等	○ リニアック、造影剤増強撮影システム、IVRアンギオ/CTシステム、全身用CTスキャナ、心臓血管連続撮影装置、二次検出器角度可変シンチレーションカメラシステム、乳房精査検診用X線撮影装置
○上記医療機器の保守に精通した者	B	○ 診療放射線技師8名	○ 臨床工学技士12名	○ 放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士	○ 放射線技師16名、検査技師25名、臨床工学技師1名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)	A	○ 昭和60年開始。14年末通算登録数4,447件、平成14年間で新規登録数259件	○ 平成元年開始。平成元~14年度の登録7,306名	○ 平成4年開始。平成14年の登録者数2,937人【49.107ページ】	△ 地域がん登録(平成14年489件)、癌別がん登録は実施。院内がん登録システムの整備に向け検討中。診療情報管理士1名
2 研修体制					
(1)地域における研修	A	○ 地域の医師及び医療従事者を対象に研修を実施 症例検討会の開催	○ 病診連携研修会、臨床懇話会において研修を開催【4.29~32ページ】	○ 地域の医師会においての講演、症例検討会、カンファレンス等を開催【54ページ】	○ 月1回地域医師会員を対象に研修会・講演を実施
(2)院内医療従事者の研修	A	○ 症例検討会、派遣研修の実施	○ 癌化学療法勉強会、肺癌、乳癌の研修会を開催【5ページ】	○ 各診療科及び病棟や関連科と合同で研究会・症例検討会・カンファレンス、研究発表等を開催【55ページ】	○ 症例検討会・各種研修会を開催 学会及び研究会への出席
3 情報提供体制					
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の公開	A	○ 年度別悪性腫瘍の登録数の掲載、手術件数、治療紹介、院内カンファレンスの掲載など	△ 癌センター運営委員会及びインターネット部会において「がん診療」におけるインターネットを整備中【5ページ】	○ ①各科が取り扱ったがんの症例数、治療法、手術数、治療成績等を掲載。②医学・健康関係の書籍等を収集した医療情報コーナーを設置し、情報提供。	○ 病院紹介・診療案内及びがん手術症例の照会
(2)地域の医療機関からの相談対応・情報提供	A	○ 地域医療連携室を設置し、地域医療機関との病診連携体制を整備している。	○ 診療統計(院内がん登録に関する統計を含む)を送付【5.28~46ページ】	○ 医師による相談対応、診療案内に関する印刷物を地域の医療機関に配布等。	○ 研修会等での情報提供、個別相談に必需
(3)がん情報の収集提供(5年生存率等)	A	△ 全国的な学会へ参加し、総合的ながん情報の収集提供を行っている。平16年度から5年生存率の情報提供。	○ 平成14年のデータから5癌の5年生存率を出し委員会へ報告・統計掲載。平成元年から院内がん登録開始。平成2年から診療統計に掲載し、分析報告を行っている。【5.45~46ページ】	○ 毎年「医療統計」を医療情報課で作成し、各種診療実績をまとめている。その中ががんの5年生存率などのデータも取り入れている。ホームページにおいてもがん情報を掲載している。【95~97ページ】	△ 関連学会などで情報収集提供。今後、5年生存率を提供していく予定。

指定要件等	必須/A 非必須/B	山口県立中央病院(13)	三豊総合病院(14)	国立療養所福岡東病院(15)	大牟田市立総合病院(16)
所在地		山口県防府市大崎77番地	香川県三豊郡豊浜町大字地浜708番地	福岡県古賀市千鳥1丁目1番地1号	福岡県大牟田市宝坂町2丁目19番地1
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定					
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、平成12年の人口、がん診療拠点病院数)		山口県「防府保健医療圏134,040人(平成14年10月1日現在)」の1カ所目	香川県(三豊医療圏、平成13年10月1日人口139,428人)の1ヶ所目	福岡県(粕屋保健福祉医療圏)人口250,753人(別添1、2)の1カ所目	福岡県(有明保健医療圏)人口261,949人の1カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	33.26%	10.83%(平成14年度)	22.40%	26.60%
II 拠点病院の指定要件 (継続的、全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)					
1 診療体制					
(1)診療機能					
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 5部位のがん診療に携わる医師数、診療内容、診療実績等【別添4】	○ 診療実績は別紙2の1ページのとおり。5部位のがんの専門的医療体制は、別紙3の1～5ページのとおり。	○ 5部位のがんのいずれにも専門的医師がおり、内科、外科、放射線科一環となった診療を行っている。また、院内には放射線科、看護部、薬剤部、検査部門、放射線科、リハビリ部門からなる臨床医科センターが設立され、毎月1回開催される臨床医科カンファレンスを通じて、がん診療の質の向上と、地域医療と連携し医療従事者の教育、研修などを行っている。	○ 乳がん以外に内科、外科、放射線科によるチーム体制をとっており、乳がんは外科、放射線科、リハビリテーション科のチームで対応している。また、16年度に消化器センターを設立し、内科、外科、放射線科による学術的診療体制を構築することを定めて、対象各病の割合は順次となる。(別添1-1、1-2)
②緩和医療提供体制	A	○ 緩和ケア病棟はないが、麻酔科で緩和医療を実施緩和医療提供体制【3-(1)-アイ】	○ 緩和ケア病棟あり(12床)、緩和ケア外来の設置(週1回)、詳細は別紙3の6ページのとおり。	○ 緩和ケアチーム 有 特定の緩和医療用の病棟はないが、それぞれの診療科でターミナル患者に緩和治療を行っている。臨床医科センターの中に緩和医療チームを編成し講習会を行い緩和医療の充実にも努める。(別添4)	○ 緩和ケア研修を受講した看護師、及び医師等の緩和ケアチームによるがん病棟の診療体制を16年度に予定している。
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 紹介率40.8% 患者の紹介・受け入れ体制について地域医療機関と連携している【3-(1)-ウ】	○ 地域医療連携室を設置し、地域医療機関との連携を推進している。特殊医療については、香川大学及び岡山大学と連携している。	○ 各診療科が積極的に地域の医療機関からの相談にあたり、粕屋医療会、有明医療会などと連携して定期的にカンファレンス(粕屋カンファレンス、有明カンファレンス)を開催し、福岡県有明医療協議会・粕屋医療支部会)を行い症例検討、講演などを通じて新しい情報を提供している。	○ 14年度 紹介患者数 6,317名(紹介率36.5%) 逆紹介人数4,006名(逆紹介率20.9%)
(2)診療従事者					
①医療機関や患者からの相談に対する対応者の配置	A	○ 学会認定医資格を有する専門医、医療相談室等により対応	○ 画像診断は放射線の、化学療法は内科及び外科の、緩和医療は緩和ケア病棟の専門医が対応。	○ 医療者ネットワークとして、多岐系が連携の体制を構築し、各病の診療体制方針について情報交換を行っている。また、副院長、各病棟長及び副院長等による各診療科間における患者ケアや診療体制等について定期的な報告を実施している。	○ 学会認定資格を有する専門医等により対応(別添2)
②下記に掲げる者の配置					
○専門的な看護に携わる看護師	B	× 毎年1回九州がんセンターの研修に参加	△ 本年末配置予定(緩和ケア病棟看護師1名が現在研修受講中)	×	× オンコロジーナス(久留米大学養成講座) 3名
○精神保健福祉士	B	×	△ 医師、看護師、臨床心理士(兼務)により対応	×	×
○臨床心理に携わる者	B	×	○ 臨床心理士1名(兼務)	○ 常勤 1名	○ 常勤 1名
○臨床診療管理に携わる者	B	○ 5人【別添3-(1)-イ】	○ 診療情報管理士1名(兼務)	○ 非常勤 1名	○ 常勤 1名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 1人【同上】	○ 医療ソーシャルワーカー1名(兼務)	○ 常勤 1名	○ 常勤 1名
○放射線治療医又はこれを選択により確保	A	○ 3人【同上】	○ 放射線科医師3名	○ 非常勤 1名(平成16年度常勤医師1名採用予定)	○ 常勤 2名 非常勤 1名
○病理専門医又はこれを選択により確保	A	○ 1人【同上】	○ 病理医3名	○ 非常勤 1名	○ 常勤 2名
(3)医療施設					
①医療相談室	A	○ 1室	○ 1室	○ 有 1室	○ 有 1室(資料3-2)
②集中治療室	B	○ 1室6床	○ 1室(10床)	○ 有 20床(資料3-3)	○ 有 20床(資料3-3)
③無菌病室	B	× なし	○ 2室(2床)	○ 有 1室(資料3-4)	○ 有 1室(資料3-4)
④放射線治療施設またはこれを選択により確保	A	○ リニアック1台、ラルス1台、ハイパーサミア1台	○ リニアック1室	○ 有 1室	○ 有 (資料3-1)
(4)医療機器					
○高度な医療機器	B	○ CT、MRI、シンチレーションカメラシステム、血管造影診断撮影システム、DRX線テレビ装置、乳房撮影装置【別添7-3】	○ リニアック1台、MRI2台、CT2台、マンモグラフィ1台等	○ MRI(医師1名、技師1名)、CT(医師1名、技師1名)、RI(医師1名、技師1名)リニアック(医師1名、技師1名)、血管造影撮影装置(医師1-2名、技師1名)ガンマカメラ(医師1名、技師1名)乳房撮影装置(技師1名)【別添7】	○ MRI、アプターローディング、CTライナック、X線TV装置(11演題)、Ri、DSA装置、温熱療法装置(資料3-1)
○上記医療機器の保守に精通した者		○ 放射線科医師3人、放射線技師13人【別添3】	○ 放射線医師3名、診療放射線技師13名	○ 放射線科医師3名、放射線技師9名	○ 放射線科常勤医師 2名、非常勤医師 1名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)	A	○ 平成6年開始。登録者数6,164人【3-(1)-オ】	○ 平成15年7月開始、登録者数70名	△ 各診療科それぞれで持っている情報を今秋より整備していく。	△ 平成16年整備予定
2 研修体制					
(1)地域における研修	A	○ 県内の医師を対象に研修会、研究会、カンファレンスを開催【3-(2)】	○ 医師会を対象とした症例検討会(毎月)、講演会(随時)を実施している。今後は、5部位のがんについて研修会(各5回/年程度)を開催予定。	○ 呼吸器疾患医療連携の基幹施設として九州ブロックの会議を年1回開催し、共同研究課題として臨床研究を実施中である。研修会、講習会を開催【別添4】	○ 平成14年度CPCI(11回、17演題)解散病棟による個別研修 平成15年度CPCI(11回、前年並み)解散病棟による個別研修【別添4】
(2)院内医療従事者の研修	A	○ カンファレンス、症例検討会、各種研修会、救急講習会、カンファレンス【3-(2)】	○ カンファレンス、症例検討会、各種研修会を実施している。今後、緩和ケアセミナーを実施予定。	○ 緩和医療を充実と質を向上するために、医師、看護師、その他医療従事者を対象とした定期的な講習会を計画中である。研修会、講習会を開催【別添4】	○ 平成14年度CPCI(11回、17演題)看護研修会(1演題)病院学会(1演題)院内勉強会(1演題) 平成15年度前年度並み【別添4】
3 情報提供体制					
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の公開	A	○ 病院紹介、診療案内、情報の提供【3-(3)】	○ ホームページの病院紹介において、緩和ケア病棟などを紹介している。今後、がんに関する情報内容を充実の予定。	○ がんを診療している診療科(呼吸器内科・外科、消化器・計画内外科、外科、血液、放射線科)がそれぞれ個別にがんの診断と治療について報告している。今後は臨床医科センター設立を機に当該におけるがんの診断と治療の情報も公開していく予定である。(別添9)	○ 検査内容、特定疾患 がん50症種別情報(がん診療科)、胃腸透視(胃カメラ)食道・胃・十二指腸の造影や腫瘍、造影剤造影検査一肝がんなど、(尿管造影検査)腎門領域検査一大腸がんなど)乳がん検診、子宮がん検診)【別添5-1、6-2】
(2)地域の医療機関からの相談対応・情報提供	A	○ 地域医師会会員を対象に各種がん疾患の診断・治療の現況を講演【3-(3)】	○ 地域医療連携室が院内医師の専門領域を記載した冊子及び院内雑誌を配布している。今後、医師会等関係機関を加えた「地域がん診療連絡協議会」(仮称)を設置し、体制をさらに整備予定。	○ ホームページ、粕屋北部カンファレンス、広報誌(千鳥)を通じて診療、新しい医療機器の紹介などは進められている。今後は、具体的ながんの診断や治療、成績などを自施設に加えて我が国の現状など新しい情報を発信していく計画としている。	○ 冊子「診療の御案内」にて病院の概要、各診療科の案内、開放病棟の紹介、主な医療機器の紹介、各種指定・届出事項等の紹介
(3)がん情報の収集提供(5年生生存率等)	A	○ がん学会等の情報の収集及び提供、防府市医師会への情報提供【3-(3)】 5年生生存率については、今後データ整備予定。	○ 国内外専門医誌、各種学会等からの情報の収集に努め、地域への情報提供を行っている。	○ インターネットを介して、九州がんセンター、国立がんセンターの情報は収集している。また、国立病院・療養所のみで当病院は呼吸器疾患の専門病院であり、肺癌に関する他施設との共同研究に積極的に参加している。	○ メッドライン、ジョイスによる文献検索収集、画像診断「レボ」による情報提供、病理診断による情報提供

指定要件等	必須:A, 非必須:B	医療法人財団池友会 新行橋病院(17)
所在地		福岡県行橋市大字道場寺1411番地
I 地域がん診療拠点病院(以下「拠点病院」)の指定		
2次医療圏に1カ所程度(2次医療圏名、平成12年の人口、がん診療拠点病院数)		福岡県(京築保健医療圏)人口195,573人の1カ所目
入院患者に占めるがん患者の割合	参考	7.30%
II 拠点病院の指定要件 (継続的、全人的な質の高いがん医療を提供するための要件)		
1 診療体制		
(1)診療機能		
①我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん、等)につき専門的医療体制を有する	A	○ 5つのがんについて外科医5名、内科医7名で診療にあたっている(別添3-1)
②緩和医療提供体制	A	○ 緩和ケアチームで対応
③地域医療機関・大学病院等との連携・協力体制	A	○ 5つのがんについて、国立小倉病院、北九州医療センター、九州大学病院等と連携をとっている。
(2)診療従事者		
①医療機関や患者からの相談に対する対応者の配置	A	○ 常勤4名、非常勤1名(院長、外科部長等)により対応(別添2)
②下記に掲げる者の配置		
○専門的な看護に携わる看護師	B	×
○精神保健福祉士	B	×
○臨床心理に携わる者	B	○ 非常勤 1名
○臨床診療録管理に携わる者	B	○ 常勤 3名
○ソーシャルワークに従事するもの	B	○ 常勤 2名
○放射線治療医又はこれを連携により確保	A	○ 非常勤 1名(国立小倉病院及び福岡和白病院と協力体制が確立している)
○病理専門医又はこれを連携により確保	A	○ 非常勤 1名
(3)医療施設		
①医療相談室	A	○ 有 1室(別添3)
②集中治療室	B	○ 有 11床(別添3)
③無菌病室	B	×
④放射線治療施設またはこれを連携により確保	A	○ 協力体制 有(別添3)
(4)医療機器		
○高度な医療機器	B	○ MRI,CT,RI,DSA装置2台、マンモグラフィ装置、膀胱鏡装置、電子内視鏡システム、超音波診断装置、高気圧酸素治療装置(別添3)
○上記医療機器の保守に精通した者		放射線科非常勤医師1名 技師1名
(5)院内がん登録システム(整備見込みを含む)	A	○ 有(平成14年1月開始、登録者数300件)
2 研修体制		
(1)地域における研修	A	○ 研修会等を開催(別添4-1)
(2)院内医療従事者の研修	A	○ 研修会等を開催(別添4-2)
3 情報提供体制		
(1)ホームページ等による地域におけるがん診療情報の公開	A	△ ホームページは公開しているが、がんに関する診療情報は現在の所公開していない。検討中。
(2)地域の医療機関からの相談対応・情報提供	A	○ 季刊誌「コスモス」等による情報提供及び毎月症例検討会を開催し、春・秋の年2回学術講演会を当院主催で行っており、多数の医療機関に参加して頂いている。
(3)がん情報の収集提供(5年生存率等)	A	○ 図書室を設置するとともに、5年生存率等をインターネットにて情報収集できるよう環境を整えており希望者に利用できるようにしている。